

令和7年度 こども園 関係者評価
園評価・評価委員最終評価シート

子育てセンターとみがおか

こども園（保育園）関係者評価委員会による評価

対象評価： 最終評価

評価日時： 令和 8 年 2 月 5 日 9:30~11:00（木）

【こども園（保育園）関係者評価委員会構成】

学識委員 1名 地域委員 1名 保護者委員 2名

【園の教育・保育目標】

みていてね てつだってね まっていてね
～ こどもの“わくわく”のためにできることは… ～

【本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した
こども園（保育園）評価の具体的な目標や計画】

“みていてね”子ども達は不安な時でも、身近な大人が寄り添ってくれている安心感があることで、様々なことに挑戦をしていくことができます。“てつだってね”子ども達はまだまだ成長の途中です。困ったとき「こまった」と表現できることは大切なこと、頼ってもいい大人が傍にいてくれることも大切なことです。“まっていてね”子ども達は自立に向かって自分の歩幅で歩みを進めています。「まっていてくれる」絶対的な信頼が支えになります。これらの『安心⇒冒険や挑戦⇒不安⇒安心⇒冒険や挑戦』の循環が子ども達をより育てます。
今年度、生活や遊びの中で、やってみよう！と“わくわく”する感情体験と共に、それが保証されることでより肯定感の育ちに繋がるよう、子ども達の自己決定を大切に教育・保育をしていきます。

【評価基準について】

- 4・・・十分に達成されていた
- 3・・・ほぼ達成されていた
- 2・・・取り組みは見られるが達成が十分ではない
- 1・・・取り組みが不十分であった

項目	園評価		評価委員最終評価	
	評価	評価理由	評価	評価理由（評価委員から）
I. 目標の理解 1. グランドデザインを理解している 2. グランドデザインを意識している 3. 重点目標を意識している 4. 重点目標を意識して取り組んでいる	4	・グランドデザイン、重点目標共に年度初めの会議の中で職員の理解を図り、グランドデザインを意識しながら、指導計画を立案している。 ・グランドデザインの内容を十分に理解した上で、教育・保育に活かしているかという点では課題が残るが、毎月のクラスカンファレンスで、重点目標を意識した子どもの姿や情報を共有することができた。	4	・参観を通して、先生たちがのびのびと笑顔で教育・保育を行っている事が確認できている。また、園児たちも、園で過ごす中で表情も良く、楽しく登園できていることが分かる。 ・重点目標の『みていてね まっていてね てつだってね』の通り、子ども達に寄り添っていることが、園独自の問い(項目16)に対する回答からも十分確認することができる。
II. 教育・保育の計画性と内容 1. 指導計画の作成 2. 環境への配慮 3. 教育・保育活動の実践 4. 計画と実践の評価・反省	4	・発達や五領域に沿った指導計画（年間計画、月案、週案、日案）を作成し、職員間で共通理解を図りながら実践している。 ・子どもたちの興味・関心の深まりや変化を読み取り、クラスカンファレンスで話し合い、確認や反省、計画がされている。他クラス間の話し合いを設ける機会が少なかった為、育ちの繋がりを意識した遊びの展開はされにくく連携の必要性を感じている。 ・計画性を持って活動を進めていけるように、以上児リーダー・未満児リーダーを中心にしながら、他クラス連携を深めていけるよう、話し合いの持ち方等の工夫をしていきたい。	4	・年長児の梅ジュース作りが、お泊り保育で楽しめたりと活動の繋がりがあり、子ども達がわくわくできる活動が提供されている。 ・クラスカンファレンスが、昼の時間帯を利用して行っていると思われるが、お昼寝時の子ども達の安全も確保されていると感じている。

<p>Ⅲ. 子どもにとっては</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. あなたらしさが認められる 2. 安心してすごせる生活 3. 自然に触れて心ゆくまで遊ぶ 4. いろいろな人の中で自分を知る 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・“子どもにとって”を考える研修に参加し、子ども一人ひとりのありのままの姿を受け止める関わりや意識が高まっている。 ・子ども達自身、大人との安心、安定した関りが土台となり、自然と異年齢での関わりも見られ、思いやりや、憧れの気持ちを育てている。 ・子ども達が“やってみたい”と感じた時にやることのできる主体性のある活動の保証と、その中で揺れ動く子どもの心に丁寧に寄り添った。 ・活動や行事によっては主体的な活動が進められない事もあったり、職員の余裕がなくなると、子どもたちにとってゆったりとした環境や整備が整っていない事もあった。 ・様々な環境の変化で、四季が感じにくくなっている中、季節の移り変わりや、草花、生き物等の自然的環境における活動の保証がされるように学びを深め、実践していく事が今後の課題である。 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・リズムや運動会、オペレッタ等の行事が異年齢グループで行われている。その中で、大きい子達が小さい子達のお世話をしてくれている様子が伺える。 ・オペレッタでは、子どもが歌詞や振付けを考える場を設けていた。大人が一方的に決めるのでなく、子ども達が主体になれる機会を設けてくれていることが素晴らしいと思った。 ・三輪車の取り組みでは、先生達も不安や課題がたくさんあったと思われるが、子どもの姿を捉え、満足できる遊びの提供の他、子ども達同士で話し合える機会を設けたことで、思いやりや、いたわりの心が育ったことも参観を通して感じることができた。 ・年長児の活動で、山登りやサッカー等、中止になった活動があったが、子ども達の安全を第一に考えてくれていた。
<p>Ⅳ. 家族にとっては</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 気軽に話ができる 2. 教育・保育に参加できる 3. 必要な情報が得られる 4. 教育・保育を通して地域に親しむ 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見にもあった情報の伝わりにくさでは、月のお便りや週案など、情報手段がたくさんあるため、分かりにくさや正確性が十分ではなかった。伝えたい情報が伝わる為の工夫が必要である。 ・就学を意識した取り組みにおいて、年長児は学校見学や情報の発信等がある為、取り組みが分かりやすく保護者にも伝わりやすいが、他学年においては難しさがある為、どの様に情報発信をし、取り組みを理解していただくかが課題である。 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・情報に関しては、園だよりに全て集約されている。網羅されている為、確認はしやすいが細かな情報までは記載されていない為、分かりづらさがあるのかもしれない。 ・利用者満足度調査の意見には、子どもの園での様子が伝わりにくいという意見もあった。先生たちからの『聞いてもいいんですよ』『声を掛けてくださいね』等のインフォメーションも必要だが、保護者自身から聞きたいことがあれば、自分から聞きに行くことも大切だと感じる。
<p>Ⅴ. 地域にとっては</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 誰でも親しく訪ねられる 2. 園の内容がよくわかる 3. 困った時に頼りになる 4. 子育てに夢がもてるように 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・安心してお子さんを預けられるよう、明るい挨拶、子どもの気持ちに寄り添った関わりを心掛けている。行事や活動の様子を玄関掲示やブログで知らせて情報共有を行い、子ども達の成長と一緒に喜び事が出来ていると感じる。 ・地域子育て支援センターのイベントやおたより、ブログ等で発信することで多くの方に利用していただくことが出来ている。また、園庭開放や園の行事に参加する機会が増えたことで地域の親子と園の子どもたちが一緒に遊ぶ機会も増え、交流にも繋がっている。利用のリピーターも増え、園との信頼関係が出来てきたと感じる。 ・保護者とは、送迎時にこまめに話をしたり、相談に乗ったりしながら、子どもの成長を共有している。また、個別に保護者との相談時間を設け、子どもの育ちや悩みを共有する対応をした。 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・地域子育て支援センターが地域に開かれており、利用者からも手作り玩具で遊べることやサロン等のイベントも好評である。 ・人形劇や、おまつりごっこ等、園の行事に参加できる機会があり、園の取り組みを知ることができたり、園児と関われる貴重な機会となっている。
<p>Ⅵ. 保育者にとっては</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 個性がいかされる 2. 快適な職場づくり 3. 生活や遊びの文化が伝えられる 4. 視野を広げて自ら学ぶ 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・職員が外部の研修に参加し学んだことを会議等で周知する機会を設けたことで、自分も学びたいと職員の意識が高まっている。学べる機会と学びが広がるよう努めていきたい。 ・園内研修を通して、全職員で一緒に保育の振り返りを行った。また、グループワークで意見交換をする事で、視野を広げて学びを深める事ができ、園全体で同じ思いをもって教育・保育ができるようにしていった。 ・職員同士が協力をし、助け合える形や関係性を築くために、コミュニケーションを取る十分な時間の確保が難しく課題である。 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・園の雰囲気から、日常的に職員間のコミュニケーションが取れていると感じる。風通しの良い職場環境が整えられている。 ・子ども達も個性があり多様であるように、先生たちも特性や個性があると思う。職場で活かされることと、保護者にも先生たちの多様性をもっと見せてくれてもいいと思う。